



同時開催の展覧会  
円山応挙から近代京都画壇へ  
2019年11月2日|土|—12月15日|日|



交通案内

JR-バスをご利用の方

- JR-近鉄京都駅前[A1]のりばから市バス5番 銀閣寺・岩倉行、(D1)のりばから市バス100番(急行) 清水寺・銀閣寺行  
「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 阪急電鉄・阪急電鉄-バスをご利用の方
- 阪急鳥丸駅・京都河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 銀閣寺・岩倉行  
「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 阪急鳥丸駅・京都河原町駅、京阪祇園四条駅から市バス46番 祇園・平安神宮行  
「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 市バス路線をご利用の方
- 「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめつせ前」下車徒歩約5分
- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分
- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分

\*当館には駐車場がございません。岡崎公園駐車場(地下)をご利用ください。

\*岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の料金(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。



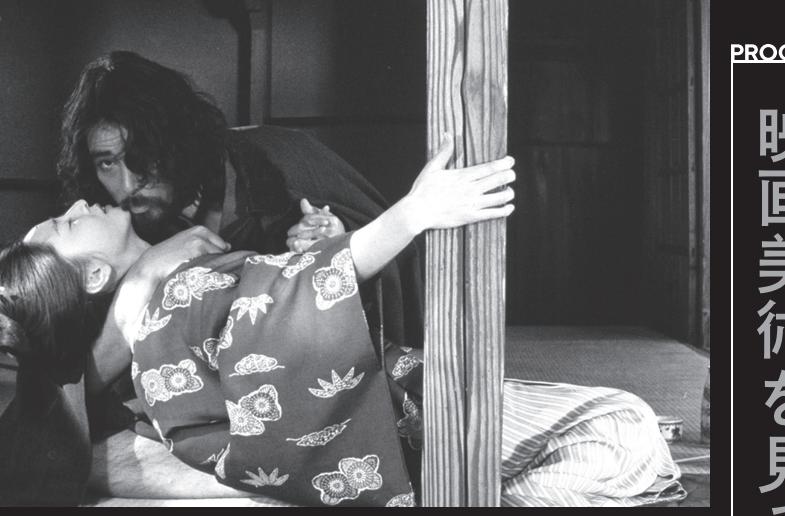
木下グループ

お問い合わせ・会場

京都国立近代美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町

TEL. 075-761-4111 <http://www.momak.go.jp/films/>



PROGRAM

# 映画美術を見る 1

## 木村威夫



# MoMAK FILMS

## PROGRAM

### 映画美術を見る1: 木村威夫

2019

11.23  
11.24

#### PROGRAM

映画美術とは、人の情念を表現する仕事である— 木村威夫

MoMAK Filmsでは展覧会の関連企画として美術に焦点をあてた特集をたびたび行つきましたが、この度「映画美術」シリーズを開始します。

セット、装飾、小道具、衣装など、スクリーンに映る身体以外のすべてをデザインし、映画的空間の構築を通して、作品独自の世界観やキャラクターを創造する映画美術。その豊饒な世界を見る第1回は、木村威夫(1918-2010)を紹介します。京都造形芸術大学でも後進を育成した映画美術監督・木村威夫の、考証に裏付けられた大胆な発想力と、リアリズムと幻想の境界を自由に飛び越える柔軟性に富んだ魅惑の世界をご堪能ください。

#### INFORMATION

上映作品は予告なく変更する場合があります。

上映作品、各回のスケジュールについては京都国立近代美術館HPにてご確認ください。

<http://www.momak.go.jp/films/>

料金 | 1プログラム 520円 当日券のみ)

\*中学生以下は無料。

\*心身に障がいのある方と付添者1名は無料(要証明)。

\*当日に限り、本券でコレクション展もご覧いただけます。

-先着100席

-入場券は1階インフォメーションにて販売します。

1回目の上映開始1時間前より当日分のすべての作品の整理番号つき入場券を販売、開場します。各回入替制です。  
-会場内の飲食はご遠慮ください。

主催 | 京都国立近代美術館(MoMAK)、国立映画アーカイブ(NFAJ)

特別協賛 | 木下グループ

11/23|土・祝| 14:00-16:24

11/23|土・祝| 17:00-18:53

#### ツイゴイネルワイゼン

(144分・35mm・カラー・英語字幕付)

1980 シネマ・プラセッタ

監 鈴木清順 脚 田中陽造 撮 永塚一栄

美 木村威夫、多田佳人 音 河内紀

出 原田芳雄、藤田敏八、大谷直子、大楠道代、

真喜志きさ子、麿赤児、樹木希林、山谷初男、

相倉久人、玉川伊佐男

サラサータ自演のレコードに収められた声から説き起こされる生者と死者が逆転する怪異譚。鈴木清順を中心とした脚本家集団・具流八郎の一員だった田中陽造が内田百閒のいくつかの短篇を基にシナリオ化。

鎌倉を舞台に、日常に潜む静かな恐怖を描いた本作は、国内外で受賞して興行的にも成功を収め、鈴木清順の評価を決定的にした。

木村は『けんかえれじい』(1966)以来14年ぶりの清順作品参加で、美と幻想の魅惑に満ちた世界を作り上げた。



ツイゴイネルワイゼン ©1980 / 写真提供:リトルモア

#### 黒い潮

(113分・35mm・白黒)

1954 日活

監・脚 林海象 原 井上靖 脚 菊島隆三

撮 横山実 美 木村威夫 音 塚原哲夫

出 津島恵子、左幸子、滝沢修、東野英治郎、

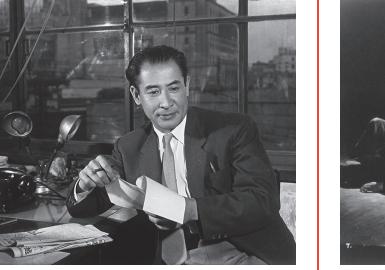
河野秋武、信欣三、安部徹、進藤英太郎、

四方正夫、中原啓七、近藤宏、夏川静江、

沢村真子、石山健二郎、千田是也、青山杉作

木村の日活移籍第一作。1949年に発生した下山事件の報道現場を描いた同名小説を原作に、憶測記事に煽られる世間の風潮に抗い、客観的な報道姿勢を貫こうとする社会部記者速水(山村)の苦闘を描く。

有楽町にあった毎日新聞社を克明に取材してリアルな編集部のセットを組んだ。松竹から移籍して本作で助監督を務めた鈴木清太郎(清順)に木村は初めて出会い、強い印象を受けたという。



黒い潮 ©日活

11/23|日| 14:00-15:21

#### 夢みるように眠りたい

(81分・35mm・白黒)

1986 映像探偵社

監・脚 林海象

撮 長田勇市 美 木村威夫 音・出 あがた森魚

出 佐野史郎、佳村崩、大竹浩二、遠藤聟司、

松田春翠、吉田義夫、深水藤子

私立探偵魚塚(佐野)に持ち込まれた誘拐事件の捜索依頼。調べを進めうちに、それが『永遠の謎』という未完の無声時代劇映画に絡んでいることが明らかになってゆく…。

友人に連れられてお正月に木村宅を訪れて映画化を相談したというエピソード自体がも

はや映画的な〈神話〉となった林海象監督のデビュー作。撮影初日、本篇に登場する『永遠の謎』の撮影場所に困った時、経験豊かな木村がすぐに竹藪を探すように提案し、事なきを得たという。



夢みるように眠りたい

11/24|日| 15:30-16:30

#### 林海象監督による アフタートーク

(81分・35mm・白黒)

映画監督の林海象氏に、木村威夫が手がけた映画美術の仕事についてお話を伺います。

フィルム修復プロジェクトによって今年9月に完成した『夢みるように眠りたい』デジタルリマスター版の一部もご覧いただけます。

林海象 Hayashi Kaizo

1957年京都市生まれ。映画監督、映画プロデューサー、脚本家。

1986年『夢みるように眠りたい』でデビュー。

『私立探偵 滝マイク』シリーズや『ZIPANG』『彌勒 MIROKU』ほか作品多数。永瀬正敏主演による最新作『BOLT』は、高松市美術館でのヤノベケンジ展の会場にて撮影された。2014年まで京都造形芸術大学映画学科で教鞭をとり、現在は東北芸術工科大学教授。

ツイゴイネルワイゼン ©1980 / 写真提供:リトルモア

ツイゴイネルワイゼン ©1980 / 写真提供:リトルモア

